

小中接続単元 Hello! Junior High School Life. 第1時 (全12時)

- 目 標 ・教師や友達の自己紹介を聞くとともに、生徒が簡単な自己紹介をする。
- 評価規準 ・本時は実態把握の時間であるため、評価は行わない。
- 準 備 ・We Can!2 デジタル教材
- 関 連 ・We Can!1 Unit1, We Can!2 Unit1, Hi, friends!1 Lesson1,4

時間	言語活動等 (生徒)	指導・援助 (教師) ◎評価<方法>
5分	<p>○挨拶をする。</p> <p>・教師の自己紹介を、反応を示したり、質問について考えたり答えたりしながら聞く。</p>	<p>・全体に挨拶をする。</p> <p>・初めての英語科の授業にあたり、好きなものやこと、嫌いなものやことなどを含めて短い自己紹介をする。その際に、一方的に話さず、質問をしたり生徒からの質問に答えたりしながら自己紹介を進め、生徒を自己紹介に巻き込むようにする。</p> <p>※教師の写真や具体物等を提示するとよい。</p> <p>・教師の名前はアルファベットの文字を示し、意識付けを図る。</p>
	<p>自己紹介の例</p> <p>Hello, everyone. My name is Tanaka Yumi. Y-U-M-I. Yumi. I live in Sakura-cho. I like badminton very much. Do you like badminton? I have a cat. Her name is Taiga. She is very cute. I like cats very much. Do you like cats? …</p>	
30分	<p>○自己紹介をする。</p> <p>・小学校で習った表現を活用し、簡単な自己紹介をする。</p> <p>“I’m Kenta. K-E-N-T-A. Kenta. I’m from ~. I like ~. Nice to meet you.”</p>	<p>・生徒に簡単な自己紹介 (名前・出身校・好きなもの) をするよう伝える。</p> <p>・生徒の自己紹介に対して、反応したり全体に質問をしたりしながら、進めていく。</p>
12分	<p>○世界の友達が自己紹介をする映像を見る。</p> <p><b>【Let’s Watch and Think】</b></p> <p>We Can! 2 Unit1 p.2, 3</p> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; width: fit-content; margin: 10px auto;"> <p>ムハンマド (エジプト) アナスタシア (ロシア) マーク (アメリカ) ソフィア (ブラジル)</p> </div>	<p>・We Can!2 のテキスト (デジタル教材) を提示し、小学校での学習を想起させる。</p> <p>※生徒が持参している場合は各自で見えるように伝える。</p> <p>・映像を見せ、わかったことを発表させるとともに、世界では様々な国で英語が使われていることを実感できるようにする。</p> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; width: fit-content; margin: 10px auto;"> <p>例：ムハンマド</p> <p>Hello. アッサラームアレイコム My name is Muhammad. I’m from Egypt. I like cats. We have a cat. He is small and cute. I can speak Arabic and English.</p> </div> <p>※デジタル教材を使用できない場合は、テキストを各自見せながら指導者が指導書のスクリプトを読んだり、インターネットを利用して世界で英語を話している子どもの動画を見せたりするとよい。</p>
	<p>○中学校英語の学習について知る。</p>	<p>・中学校での英語の学習について伝える。</p> <p>・中学校では小学校よりもできるようになることが増えることを伝え、「もっと英語が話せるようになりたい」「長い英文を書けるようになりたい」等の生徒の意見を引き出すことで、中学校の学習に期待を持たせるようにする。</p>
3分	<p>○振り返りをする。</p> <p>・本時の活動を振り返り、振り返りを記入させる。</p> <p>・次時の連絡を聞く。</p> <p>○挨拶をする</p>	<p>・本時のねらいに照らして、生徒を称賛する。</p> <p>・挨拶をする。</p>

小中接続単元 Hello! Junior High School Life. 第2時 (全12時)

■目標 ・自分の好きなものについて尋ねたり答えたりして伝え合う。

■評価規準 ・好きなものについて尋ねたり答えたりして伝え合っている。

■準備 ・教師用カード (スポーツ, 動物, 教科, など)  
・ We Can!2 テキスト

■関連 ・ We Can!1 Unit1, We Can!2 Unit1, Hi, friends!1 Lesson1,4

時間	言語活動等 (生徒)	指導・援助 (教師) ◎評価<方法>
5分	<p>○挨拶をする。</p> <p>・本時の目標について知る。</p>	<p>・全体に挨拶し, 個別に数名の生徒と英語でやり取りをする。</p> <p>・本時の目標と流れを生徒と確認する。</p> <p>・指導者が自分の好きなスポーツを紹介し, 生徒数名に質問したり, 生徒からの質問に答えたりする。</p> <p>T : I like badminton. It's fun. What sports do you like? S1: I like soccer. T : Oh! You like soccer. That sounds nice. How about you? S2: I like basketball. T : Oh! You like basketball. Do you want to join the basketball team? S2: Yes, I do. Do you like basketball?</p>
14分	<p>○グループになり好きなスポーツを言う。</p> <p><b>【Let's Play 1】</b> We Can!2 Unit1 p.2,3</p> <p>全 : What sports do you like? S1 : I like baseball. S2 : You like baseball. I like soccer. S3 : You like baseball. You like soccer. I like tennis.</p> <p>○教師が言うスポーツが何かを答える。</p> <p>○好きな動物や食べ物についてもグループを変えながら同様にする。</p> <p>What animals do you like? What foods do you like?</p>	<p>・進め方を示す。</p> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px;"> <p><b>進め方</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・5~6人でグループを作る。</li> <li>・円になって (座り), 自分の好きなスポーツを決める。</li> <li>・全員が最初の人に What sports do you like? と聞く。</li> <li>・最初の方は I like (スポーツ) .を言う。</li> <li>・次の人は前の人に向かってその人が好きなスポーツを繰り返して言い, 自分の好きなスポーツを言う。</li> <li>・次の人は前の2人にそれぞれが好きなスポーツを繰り返して言い, 自分の好きなスポーツを言う。</li> <li>・同様に続け, 最後の方は全員の好きなスポーツを繰り返して, 自分の好きなスポーツを言う。</li> </ul> </div> <p>・スポーツ名のつづりを一文字ずつ言い, それが何のスポーツかを推測させる。We Can!2 p. 90 を参考にして答えてもよいことを伝える。</p> <p>T: Now, I have quiz. What sport is this? No.1 B-A-S・・・ S1: Basketball. S2: Baseball. T : B-A-S-E-B-A-L-L. Baseball. That's right! (何問か出題して文字に意識を向けさせる)</p> <p>・スポーツや動物名等については We Can!2 p. 90, 93 またはワークシート We Can!2 Unit1-1, Unit1-2 を活用しながら, 正しい発音を指導する。</p> <p>※生徒や学級の実態に合わせて扱う語彙や時間は調整するとよい。</p>

28分	<p>○友達と好きなものを尋ねたり答えたりする。</p> <p>【Let's Talk】 We Can!2 Unit1 p.6</p> <p>・インタビューシートに名前を書く。</p> <p>・ペアになり、好きなものを尋ねたり答えたりする。</p> <p>S1 : What animals do you like? S2 : I like cats. How about you? S1 : I like koalas. S2 : What subject do you like? S1 : I like P.E.. S2 :Me too. Nice!</p>	<p>・友達のことをもっと知るために英語でインタビューすることを伝える。</p> <p>・インタビューシートに自分の名前をローマ字（ヘボン式）で書くように言う。We Can!2p.80, 81 または英語の教科書のローマ字のページを参考にさせる。</p> <p>・ペアになり、好きなもの（スポーツ、動物、食べ物、教科など）を尋ねたり答えたりするように指示する。</p> <p>・答えを聞いた際に Nice. Sounds good. などと反応をしたり、質問をしたりするように促す。</p> <p>・ペアを交代しながら、会話を繰り返す。</p> <p>・会話をしながらインタビューシートに記入するのではなく、ペアで会話をした後でわかったことを書くように指導する。</p> <p>・途中で一度会話を止め、中間評価の時間を設ける。良い反応を返すなど積極的にコミュニケーションできていたペアを全体に紹介し、後半の活動がより活発になるように促す。</p> <p>◎好きなものについて尋ねたり答えたりして伝え合っている。(行動観察・振り返りカード)</p>
	<p>○インタビューシートに友達の名前をローマ字で書き、聞いてわかったことをまとめる。</p>	<p>・インタビューでメモしていた友達の名前をローマ字で書く。</p> <p>・友達との会話を通して、わかったことをインタビューシートに書く。</p>
3分	<p>○振り返りをする。</p> <p>・本時の活動を振り返り、振り返りを記入させる。</p> <p>・次時の連絡を聞く。</p> <p>○挨拶をする</p>	<p>・本時のねらいに照らして、生徒を称賛する。</p> <p>・次時ではもっと友達のことを知ろうと声をかける。</p> <p>・挨拶をする。</p>

小中接続単元 Hello! Junior High School Life. 第3時 (全12時)

- 目 標 ・自分の日課や誕生日を友達と伝え合う。
- 評価規準 ・自分の日課や誕生日を友達に伝え合っている。
- 準 備 ・教師用カード (日課, 月 など)
  - ・ We Can!2 デジタル教材 (【Let's Chant】 【Jingle】 で使用するチャンツやジングル : 教材どうぐばこー 素材種類別→チャンツ・ソング・ジングル→リスト)
- 関 連 ・ We Can!1 Unit2,4, We Can!2 Unit1, Hi, friends!2 Lesson2,

時間	言語活動等 (生徒)	指導・援助 (教師) ◎評価<方法>
3分	<p>○挨拶をする。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・本時の目標について知る。</li> </ul> <p>○指導者の話を聞き、曜日や月日を言う。</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・全体に挨拶し、個別に数名の生徒と英語でやり取りをする。</li> <li>・本時の目標と流れを生徒と確認する。</li> <li>・生徒とやり取りしながら、曜日や月日の言い方を確認する。</li> </ul> <p>T : Everyone, What day is it today? S1: Friday. T : That's right! Tomorrow is Saturday. What's the date today? S2: It's April.... S3: It's April 16. T : Yes, it's April 16<sup>th</sup>. Can you say the names of the months ?</p>
14分	<p>○ポインティングゲームをする。</p> <p>【Let's Play2】 Pointing Game We Can!2 Unit1 p.5</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・指導者が言った月を聞いて誌面にある月の絵を指し示して月名を発音する。</li> <li>・指導者が月のつづりを言うのを聞いて、その月の絵を指し示して、月名を発音する。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ポインティングゲームの進め方をデモンストレーションで示す。</li> </ul> <p>T : Let's play the Pointing Game. Look at page 5. When I say, "January", please point at "January" and say, "January". OK?</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ We Can!2 Unit1 p.5 またはワークシート We Can!1 Unit2-1 を使う。</li> <li>・ペアで一冊のテキストを使い、お互いに確認しながら進めたり、スピードを競わせてゲーム感覚で進めたりしてもよい。</li> </ul> <p>T : Next, let's play the Pointing Game level 2! When I say, "J-U-L-Y", please point at "July" and say, "July". OK?</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・つづりのアルファベットを発音するだけでなく、黒板に一文字ずつ書いていく方法もある。</li> </ul>
	<p>○チャンツを言う。</p> <p>【Let's Chant】 When is your birthday? We Can! 2 Unit1 p.3</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ We Can!1 で扱っていたチャンツを言い、誕生日の言い方を思い出させる。</li> <li>・チャンツを言った後、児童数名に "When is your birthday?" と尋ね、誕生日を言わせるようにする。</li> </ul> <p>T : My birthday is July 4<sup>th</sup>. When is your birthday? S1: My birthday is December 15<sup>th</sup>. T : Your birthday is December 15<sup>th</sup>. How about you? S2: My birthday is April 20<sup>th</sup>. T : Oh! Your birthday is coming soon.</p>
10分	<p>○友達に誕生日を聞き、同じ月の誕生日で集まる。</p> <p>○グループができたなら、誕生日の早い順に並ぶ。</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・誕生日を聞き合い、同じ誕生月同士で集まることを伝える。</li> </ul> <p>T: Let's get together with friends with the same birth month.</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・誕生日の早い順に並ぶように伝える。</li> </ul>

14分	<p>○友達にインタビューをする。  <b>【Let's Play 2】</b> We Can! 1 Unit4 p.29</p> <p>○何時に起きるかを友達と尋ね合う。  S1 : What time do you get up?  S2 : I get up at 6:00. How about you?  S1 : I get up at 6:30.  S2 : You get up at 6:30.</p> <p>○寝る時間や好きなことをする時間も同様に尋ね合う。</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・前時に書いたワークシートを提示しながら、友達とたくさんのかことをインタビューし合ったことを振り返り、もっと色々なことを知っていききたいという生徒の意欲を高める。</li> <li>・指導者が自分の日課を紹介し、生徒数名に質問する。  T : I always get up at 6 o'clock and eat breakfast at 6:30.  What time do you get up?  S1: I get up at 6:30.  T : I see. How about you.  S2: I get up at 7:00.</li> <li>・日課を表す表現を復習する。</li> <li>・生徒同士で何時に起きるかを尋ね合わせる。  ※「クラスの中で一番早起きを探そう」と声をかけるとよい。  ※We Can!1 Unit4 では“always” “usually” “sometimes”等の頻度を表す表現が扱われている。</li> <li>・時間があれば、就寝時間(What time do you go to bed?)や好きなことをする時間も同様に尋ね合うようにする。</li> </ul> <p>◎自分の日課を友達と伝え合っている。(行動観察・振り返りカード)</p>
6分	<p>○インタビューシートに友達の名前をローマ字で書き、聞いてわかったことをまとめる。</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・インタビューでメモしていた友達の名前をローマ字で書く。</li> <li>・前時に書いたインタビューシートに、本時でわかった友達のことを書き加えさせる。</li> <li>・必要な場合は、再度友達に英語で聞くことを許可する。</li> </ul>
3分	<p>○振り返りをする。  ・本時の活動を振り返り、振り返りを記入させる。  ・次時の連絡を聞く。</p> <p>○挨拶をする</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・本時のねらいに照らして、生徒を称賛する。</li> <li>・次時では、本時まで知った友達のことを生かして、活動することを知らせる。</li> <li>・挨拶をする。</li> </ul>

## 小中接続単元「Hello! Junior High School Life」 第4時 (全12時)

- 目 標 ・アルファベットの名称について理解し、正しく大文字と小文字を書く。
- 評価規準 ・アルファベットの名称について理解し、正しく大文字と小文字を書くことができる。
- 準 備 ・4線黒板, アルファベットカード, ワークシート, We Can! 2

時間	言語活動等 (生徒)	指導・援助 (教師) ◎評価<方法>
12分	<p>○挨拶をする</p> <p>・曜日についての small talk を聞き、友達と好きな曜日を尋ね合う。</p> <p>S1: What day do you like? S2: I like Sunday. S1: I see. S2: How about you? What day do you like? S1: I like Monday. I like school.</p>	<p>・全体に挨拶し、個別に数名の生徒と英語でやり取りをする。</p> <p>・本時の目標と流れを生徒と確認する。</p> <p>T: What day is it today? Ss: Monday. T: Yes. It's Monday. I don't like Monday. I like Friday. Friday's next day is Saturday! No school! I can sleep a lot. Hahaha. What day do you like, S1? S1: I like Monday. I like school. T: I see. How about you, S2? What day do you like? S2: I like Saturday. T: Why? S2: 次の日も休みだから。 T: Saturday's next day is Sunday. OK, let's talk about days. What day do you like? Monday? Tuesday? Wednesday? Thursday? Friday? Saturday? Or Sunday? ・必要に応じて、曜日の言い方の練習をしたり、板書をしたりする。 ・ペアで尋ね合わせる。 ※活動の前に「We Can!」のデジタル教材に入っている「Sunday, Monday, Tuesday」の歌を流したり、曜日を板書する代わりに曜日の絵カードを提示したりしてもよい。 ・ペア活動の後、数名の生徒の意見を発表させ、学級全体で共有する。</p>
17分	<p>○アルファベットの大文字の名称と文字を一致させる</p> <p>・大文字で表記されている単語を発表する。</p> <p>・教師の言うアルファベットの名称を聞いて、教師の後に続いて発音し、その文字を指し示す。</p>	<p>・曜日の最初の文字はすべて大文字であることに気づかせ、大文字に注目させる。</p> <p>・身の回りにある、大文字で表しているもの・ことを尋ね、発表させる。</p> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin: 10px 0;"> <p style="text-align: center;">We have many 大文字 in our life. CD is one of them. Do you know any other 大文字?</p> </div> <p>【大文字で表す単語の例】 HB, UFO, USA, IT, AI, DVD, VR, P (駐車場), A/B/O/AB (血液型), S/M/L/O (サイズ)</p> <p>※出てこなかったら、ヒントを与える。または月名や地名など、頭文字だけ大文字の言葉を考えさせる。</p> <p>・生徒から出てきた単語を4線上に板書し、どの大文字も第3線の上にかかれていることを確認する。</p> <p>・教科書のアルファベットのページを開かせ、大文字に注目させる。生徒から出てきた大文字の単語をアルファベットの名称で読み、生徒にその文字を指させる。</p>

	<p>○大文字を書く。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・板書されている大文字を，位置を確認しながら正しく書き写す。</li> </ul>	<p>T : Now I say some English words. And you point at the alphabets. I say, "TV." Then you point at "T" and "V". Let's try together. First word is DVD. Repeat after me. D-V-D.</p> <p>Ss : D-V-D.</p> <p>T: Good. And point at them. (生徒の様子に合わせてながら) D...V...D.</p> <p>Ss : D...V...D. (それぞれのアルファベットを指さす)</p> <p>T : Easy? Good. Next word is "USA.". Repeat after me. U-S-A.</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・同様に，いくつかの単語で行う。</li> <li>・ノートまたはワークシート（4線）に，板書した大文字の単語を正しく書き写させる。</li> <li>◎大文字を正しい位置に正しい形で書いている。〈行動観察・ワークシート点検〉</li> </ul>
16分	<p>○アルファベットの小文字の名称と文字を一致させる</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・教室にあるものを英語で発表する。</li> <li>・教師の言うアルファベットの名称を聞いて，教師の後に続いて発音し，その文字を指し示す。</li> </ul> <p>○小文字を書く。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・板書されている小文字を，位置を確認しながら正しく書き写す。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・教室内にあるものを英語で発表させる。</li> </ul> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin: 10px 0;"> <p>Next, let's study about 小文字. Please tell me things in this classroom. Desk, chair...anything else?</p> </div> <p>【教室内にあるものの例】 desk, chair, blackboard, fan, window, whiteboard, door 等</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・生徒から出てきた単語を4線上に板書する。</li> <li>・大文字のとくと同様に，単語をアルファベットの名称で読み，生徒にその文字を指させる。</li> <li>・ワークシート（4線）に，板書した小文字の単語を2～3つ程度正しく書き写させる。</li> <li>◎小文字を正しい位置に正しい形で書いている。〈行動観察・ワークシート点検〉</li> </ul>
5分	<p>○振り返りをする。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・本時の活動を振り返り，振り返りを記入する。</li> <li>・次時の連絡を聞く。</li> </ul> <p>○挨拶をする</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・本時のねらいに照らして，生徒を称賛する。</li> <li>・次時は大文字の確認と，小文字を更に詳しく学習すること，アルファベットの読み方（音）の練習をすることを伝える。</li> <li>・挨拶をする。</li> </ul>



小中接続単元「Hello! Junior High School Life」 第5時 (全12時)

- 目 標 ・大文字と小文字を正しく書き、アルファベットの名称と音の違いを理解する。
- 評価規準 ・大文字と小文字を正しく書き、アルファベットの名称と音の違いを理解することができる。
- 準 備 ・4線黒板、アルファベットカード、ワークシート、We Can! 2

時間	言語活動等 (生徒)	指導・援助 (教師) ◎評価<方法>
10分	<p>○挨拶をする</p> <p>・好きな色についての small talk を聞き、友達と好きな色を尋ね合う。</p> <p>S1: What color do you like? S2: I like green. S1: Nice. S2: How about you? S1: I like black. S2: I see.</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・全体に挨拶し、個別に数名の生徒と英語でやり取りをする。</li> <li>・本時の目標と流れを生徒と確認する。</li> </ul> <p>T: I like white. My car is white, and today my shirt is white. White is a lucky color to me. What color do you like? S1: I like red. T: Oh, red. That's a nice color. How about you, S2? S2: I like black. T: Black! That's cool. Now let's ask your friends about their favorite color. What color do you like?</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ペアや、数名の友達に好きな色について尋ね合わせる。</li> <li>・ペア活動の後、数名の生徒の意見を発表させ、学級全体で共有する。</li> </ul>
18分	<p>○アルファベットの小文字の4線上の位置を確認する</p> <p>・板書された単語の間違いに気づき、正しく修正する。</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・生徒の好きな色を英語で板書をする。その際、いくつかの単語をわざと間違える (大文字と小文字の混在、4線上の小文字の位置) ことにより、正しい文字・位置の確認をさせる。</li> </ul> <div data-bbox="738 1272 1422 1379" style="border: 1px solid black; padding: 5px; text-align: center;"> <p>Green Yellow black</p> </div> <p>T: OK, let's practice reading these words aloud. S1: 先生、間違っています。 T: Really? Where? どの単語? S1: グリーン。g の場所がおかしい。 T: Wow. Good! Thank you, S1. S2: 先生、他にも間違っています。 T: What? OK, everyone, let's find my mistakes. Talk to your friends.</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・生徒に間違いを見つけるように促す。</li> <li>・すべての間違いを修正することができたら、小文字を書く位置の確認をする。</li> </ul> <div data-bbox="738 1854 1422 2029" style="border: 1px solid black; padding: 5px;"> <p>OK, 大文字 is easy. All of 大文字 is on the third line. But 小文字 is not easy. So let's review. 復習をしましょう。Do you know 一階建て小文字? OK., open your textbook to page 00. (アルファベットのページ) .</p> </div>

<p>10分</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・小文字の4線上の位置を確認する。</li> </ul> <p>○大文字A~Z, 小文字a~zを正しく書く</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ワークシートに, 正しい順番で大文字・小文字を書く。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・教科書を見ながら, 生徒から一階建ての小文字を挙げさせ, 板書をする (または小文字カードを貼る)。</li> <li>・2~3線を使う小文字【一階建て】(a, c, e, i, m, n, o, r, s, t, u, v, w, x, z), 1~3線を使う小文字【二階建て】(b, d, f, h, k, l), 2~4線を使う小文字【地下一階つき】(g, j, p, q, y) など, それぞれ確認をする。</li> </ul> <p>※生徒が自分の小文字カードを持っているならば, 小文字カードを使って仲間分けをさせるとよい。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ワークシートに大文字のAからZ, 小文字のaからzまでを書く。</li> </ul> <p>◎大文字と小文字を正しい位置に正しい形で書いている。&lt;行動観察・ワークシート点検&gt;</p>
<p>10分</p>	<p>○アルファベットの「名称」と「音」の違いに気づく</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・教師の読む英単語を聞いて, 教師の後に続いて発音する。</li> <li>・アルファベットの名称の読み方と音の違いに気づく。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・板書した色を表す英単語を「名称」と「音」で読む。</li> </ul> <p>T: (greenを指して) So can you read this word? Ss: グリーン。</p> <p>T: Good. Green. How about each alphabet? (g,r,e,e,n それぞれを指さして発音させる。) Ss: (g,r,e,e,n それぞれの名称を発音する。)</p> <p>T: Yes. G-R-E-E-N. (名称読み) But you said, “green” not “G-R-E-E-N”. Why? 近くの友達と話してみましよう。 Ss: 英語では読み方が変わるのかな。</p> <p>T: That's right. アルファベットの名前と音は違うんだよ。Gはアルファベットの名前では「ジー」と読むけれど, アルファベットの「音」では「グッ」と発音するんだよ。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・別の例として, “dog”と板書し, アルファベットの名称での読み方とアルファベットの音の違いを紹介する。</li> <li>・We Can! 2 p.76のAlphabet Jingleのページを開かせ, 教師が英単語を読む。教師が発音したようにリピートさせる。</li> </ul> <p>T: A (名称読み) Ss: A (名称読み) T: /æ/ /æ/ /æpl/. Ss: /æ/ /æ/ /æpl/. ・最後のzまで同じように続ける。</p> <p>※We Can デジタル教材の「教材どうぐばこ→Hi friends plus →小文字探し」を活用してもよい。</p> <p>◎アルファベットの名称と音の違いを理解し発音している。 &lt;行動観察&gt;</p>
<p>2分</p>	<p>○振り返りをする。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・本時の活動を振り返り, 振り返りを記入する。</li> <li>・次時の連絡を聞く。</li> </ul> <p>○挨拶をする</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・本時のねらいに照らして, 生徒を称賛する。</li> </ul> <ul style="list-style-type: none"> <li>・挨拶をする。</li> </ul>

## 【第5時】 アルファベット学習

--

1<sup>st</sup> Class \_\_\_\_\_ Name \_\_\_\_\_

Handwriting practice lines consisting of multiple sets of three horizontal lines (top solid, middle dashed, bottom solid).

小中接続単元 Hello! Junior High School Life. 第6時 (全12時)

- 目 標 教師や有名人等についての話を聞き、Who am I?クイズを行う目的をもち、できることやできないことを尋ねたり答えたりする表現を理解する。
- 評価規準 できることやできないことを尋ねたり答えたりする表現を理解できる。
- 準 備 We Can!1 デジタル教材
- 関 連 We Can!1 Unit 4, 5, 9 We Can!2 Unit 1, 3, Hi, friends!2 Lesson 3, 6

時間	言語活動等 (生徒)	指導・援助 (教師) ◎評価<方法>
3分	○挨拶をする。	<ul style="list-style-type: none"> <li>・全体に挨拶をする。</li> <li>・生徒同士の挨拶も促し、英語でコミュニケーションを図る雰囲気をつくる。</li> </ul>
15分	<p><b>【Small Talk】</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・小学校で習った表現を活用しながら、教師のできること (得意なこと) やできないことについて簡単な話を聞く。</li> </ul> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin: 10px 0;"> <p>教師の話の例</p> <p>Hello, everyone. Today, I want to talk about myself. I like green because I love nature. Also, I like cooking for my family. I can cook delicious omelets and hamburgers. I like sports, too. I can't run fast, but I can jump high when I shoot the ball in a basketball game.</p> </div> <ul style="list-style-type: none"> <li>・教師の話からわかったことや聞き取ったことを発言する。また、教師が書く英語を見て、アルファベットの名称と音の違いや書き方に着目しながら読む。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・生徒が話の概要をとらえることができるよう、推測することができる語彙や表現、写真や具体物を使いながら話す。</li> <li>・生徒とのやりとりを通して、can/ can't や He/ She について意味や使い方を想起できるようにする。</li> </ul> <ul style="list-style-type: none"> <li>・まとまりのある英語を生徒に聞かせた後、以下のようなやりとりをして、生徒の理解した内容を確認めたり、登場した語句のつづり (アルファベット) に注目させたりする。</li> </ul> <p>T: What did you catch from my speech?</p> <p>Ss: "I like green!"</p> <p>T: Yes, that's right! I like the color green.</p> <p>S: "I like cooking."も聞こえたよ。</p> <p>S: "for my family" って言ってたね。家族に作るんだね。等</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・その際、第4、5時で行った活動のように、教師がアルファベットを四線に板書しながら、名称読みと音を発音して聞かせる。</li> </ul>
17分	<p>○本時からの3時間でWho am I?クイズを作って行うという学習の見通しをもつ。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・【Let's Watch and Think1】 We Can! 1 Unit 5 (デジタル教材または教師用スクリプト)</li> <li>・生徒にとって身近な有名人やキャラクターについての "Who am I?" クイズを体験する。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・初めは、We Can! 1 のデジタル教材から、山中伸弥教授、石川佳純選手、長友佑都選手の自己紹介音源を聞かせ、だれのことか予想させながら、活動のイメージをつかめるようにする。</li> <li>・次に、生徒にとって身近な有名人やキャラクターの "Who am I?" クイズを体験させ、だれのことか考えさせる。選択肢となる複数の人物やキャラクターの写真を黒板に貼るなどして、だれのことを話しているのか推測させる。</li> </ul> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin: 10px 0;"> <p>例: (Answer: 生徒にとって身近な有名人やキャラクター)</p> <p>Hello. I'm a singer. I like cats very much. My birthday is May 6<sup>th</sup>. I can play the guitar well, but I can't play the drums. I can also sing happy songs. Let's sing a song together! Who am I?</p> </div> <ul style="list-style-type: none"> <li>※デジタル教材を使用しない場合は、We Can! 1 の教師用指導書にあるスクリプトを教師が読む。</li> <li>・まとまりのある英語を聞かせた後、生徒の様子を見ながら、"A hint, please!" "Do you like --?" のようなヒントのやりとりを促すことも考えられる。</li> </ul>

	<p>○友だちについて“Who am I?”クイズを作 って出し合うことを知り，そのために必要 な英語表現を考える。</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ “Who am I?”クイズの正解が分かった後，理解した内容と共 に英語表現にも意識を向けさせる。必要に応じて，もう一度クイ ズの英語を聞かせ，どのような英語が聞こえたか確認させる。</li> <li>T: 今やってみた Who am I?クイズでは，どうやって答えが分か ったの？</li> <li>S1: “guitar”って聞こえたから，ギターを使っている歌手かなと 思っ</li> <li>S2: うん，“I can play the guitar.”しかも，“Happy songs”って言 っていたから...</li> <li>・生徒が聞き取った内容や英語を確認することで，この後のイン タビュー活動で使える表現を生徒に再確認させる。</li> </ul>
15分	<p>○ “Can you ~?”や “What can you ~?”の 表現を確認し，友だちに質問する練習をす る。(本時では can に焦点化して学習する。)</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ Can you play <i>Kendama</i>?</li> <li>・ Can you do Karate?</li> <li>・ Can you ride a roller coaster? etc..</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ “Who am I?”クイズを作ったり，友達のクイズに答えたりする ためには，たくさんの人にインタビューをして情報を得ておく 必要があることを生徒と共有し，尋ねたり答えたりする表現を 練習する意欲を高める。</li> <li>・ Can you --?の中で活用できる動詞を，中学校の教科書や We can!から選んでおき，練習する。</li> <li>・ 教師が一方的に語彙や表現を教えるだけでなく，Can you に 続く言語表現を生徒に問いかけ想起させながら，友だちに質問 してみたいことを考えることができるようにする。</li> <li>・ 第2時～3時で学習したことや友だちとのインタビューを想 起させ，第7時にインタビューをするときには，“Do you like ~?”等の表現も取り入れながらインタビューができることを意 識付けておく。</li> <li>◎できることやできないことを尋ねたり答えたりする表現を言 っている。(行動観察)</li> </ul>
5分	<p>○振り返りをする。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 本時の活動を振り返り，振り返りを記入さ せる。</li> <li>・ 次時の連絡を聞く。</li> </ul> <p>○挨拶をする。</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 本時のねらいに照らして，生徒を称賛する。</li> <li>・ 次時に向けた課題や取り組みたいことについても記述するよ う促す。</li> <li>・ 挨拶をする。</li> </ul>

小中接続単元 Hello! Junior High School Life. 第7時 (全12時)

- 目 標 ・友だちとできることやできないことを尋ねたり答えたりする。
- 評価規準 ・できることやできないことを友達と尋ねたり答えたりして伝え合うことができる。
- 準 備 ・絵カード (動作を表す表現 (動詞), 生徒にとって身近なスポーツ, 特技など)  
(We Can! 1 Unit 5 を参考に) ワークシート

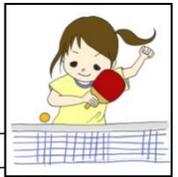
■関 連 ・ We Can!1 Unit 5, 9 We Can!2 Unit 1, 3, Hi, friends!2 Lesson3, 5

時間	言語活動等 (生徒)	指導・援助 (教師) ◎評価<方法>
5分	<p>○挨拶をする。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・前時を振り返り, 本時の目標を立てる。</li> <li>・本時に使う英語表現を使って, 教師の書く英文を見て, 英文の書き方について知る。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・全体に挨拶し, 個別に数名の生徒に挨拶する。</li> <li>・前時の学習を振り返らせ, 生徒が本時で行うことやよりよく表現したい思いなどを生かして, 本時の目標を立てる。</li> <li>・本時の目標と学習の流れを生徒と確認する。その時, 英文の書き方についての指導をする。</li> <li>・わざと whoamI?と, 詰めた状態で板書する。</li> </ul> <p>T: OK. Let's make a "whoamI?" quiz!</p> <p>Ss: 先生, なんか, 読みにくいです。</p> <p>T: え?どこ?</p> <p>Ss: くっつきすぎ。</p> <p>T: ああ, そうですね。(Who am I?と書き直す。) これでいい?</p> <p>Ss: 先生, 今度はなはれすぎ。</p> <p>T: じゃあ, ちょうどよくなるように書くにはどうしたらいい?</p> <p>Ss: Who と am と I の間にだけ少し隙間を作ります。</p> <p>T: (Who am I?と板書して) OK?</p> <p>Ss: OK!</p>
10分	<p>○ "Who am I?"クイズを作るまでの過程を知る。</p> <div data-bbox="268 1234 1449 1570" style="border: 1px solid black; padding: 5px;"> <p>クイズを作るまでの進め方</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・複数の友だちに Can you -?などの表現を使ってインタビューをした後, "Who am I?"クイズを作る。</li> <li>※よりたくさん友だちにインタビューをすることで, クイズを作るときに情報を集めることができるし, クイズに答えるときに根拠とする情報も増やすことができる。</li> <li>・問題をつくるために, 第2時, 3時で尋ねた好きなものやきらいなものの情報も活用する。("I like/ don't like -."や "My birthday is -."等)</li> <li>・本時では主に, 友だちのできることやできないことについて, 新しい情報を集めるためにインタビューを行う。</li> </ul> </div> <p>○教師のデモンストレーションを見て, インタビューのやりとりの大まかな流れを知る。</p> <div data-bbox="268 1738 727 2069" style="border: 1px solid black; padding: 5px;"> <p>例) デモンストレーション</p> <p>T, S: Hi.</p> <p>T: <u>Interview, okay?</u></p> <p>S: Yes.</p> <p>T: Do you like music?</p> <p>S: Yes, I do. (I like music very much.)</p> <p>T: <u>Nice!</u> Can you play the piano?</p> <p>S: Yes, I can. (つづく→)</p> </div>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ "Who am I?"クイズを作るまでの方法を知る。</li> </ul> <div data-bbox="268 1570 1449 1738" style="border: 1px solid black; padding: 5px;"> <p>インタビューのやりとりについて, どのようなやりとりをする</p> <p>とよいか生徒に考えさせたあと, デモンストレーションをしてみせる。</p> <p>※自分たちの考えたこととの共通点や相違点に着目して, 教師のデモンストレーションから学ぶことができるようにする。</p> <p>・会話の始め方や終わり方, コミュニケーションへの態度にかかわる部分についても, 生徒の気付きをもとに考えさせ, 確認しながら, おおまかなやりとりの例が理解できるようにする。</p> <p>・デモンストレーションを見聞きさせたあと, 近くの者同士で気付いたことを話し合わせる。相手の答えに対して相づちを打ったり, 答えと関連する質問をしたりすることなどを確認させる。</p> </div>

	<p>つづき→  T: <u>Great!</u> I like the piano, too. How about sports? Can you play soccer well?  S: No, I can't. I can play volleyball.  T: Volleyball! That's cool. Thank you.  (インタビュアーを交代する。)</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・本時のインタビューでは、“Can you -?”だけでなく、“Do you like -?” “When is your birthday?”などの既習表現を活用した質問も活用することを促す。</li> <li>※ワークシートは第2, 3時に使ったものを活用させ、足りなくなった場合に再配付できるよう多めに用意しておく。</li> <li>※インタビュー活動前の練習を何度も繰り返し行うのではなく、生徒に実際にインタビューをさせてみて、困ったことや工夫して表現していることを見取り、次の活動の中間評価に生かす。</li> </ul>
18分	<p>○既習表現およびCanを用いて、“Who am I?”クイズのためのインタビューを行う。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・生徒同士でインタビューを行う。</li> <li>・インタビューをしてみて困ったことを解決するために話し合ったり、友達のよさを出し合ったりする。</li> <li>・話し合ったことを生かして、再度インタビュー活動を行う。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・教師は、生徒が相手を変えながら複数の友だちとやりとりする様子を観察し、生徒の困っていること、使っている表現や態度のよさを見取り、全体で共有できるようにする。</li> <li>・実際にインタビューをしてみて、どう表現するとよいか分からなかったことや悩んだことについて問いかける。</li> </ul> <p>T: Did you have any troubles? Any questions about English in your interview?</p> <p>S1: 「空手がとても得意だ」と言いたかったけれど、I can do <i>Karate</i>. でいいの着迷いました。</p> <p>T: まわりのみんなはどう思う？</p> <p>S2: たしか、Can you do <i>Karate</i>? って尋ねていたから、I can do <i>Karate</i>! でいいんじゃないかな？</p> <p>S3: 「とても」だから、very well を付けるんじゃないかな。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・生徒が実際に活動してみて迷ったこと等を発言させ、全体で考えたり意見を聞き合ったりしながら、後半のインタビュー活動に生かすことができるよう板書する。</li> <li>・生徒が工夫して表現している様子や使っている英語表現を称賛し、全体で紹介する。</li> </ul> <p>◎友達と好きなものやできること、できないことを尋ねたり答えたりしている。(行動観察)</p>
14分	<p>○友達に聞いてわかったことをインタビューシートにまとめる。</p> <p>○インタビューしてわかったことを、“can”を使った文にしてワークシートに書く。</p> <p>(We Can! 1 Unit 5 ワークシート U5-1～4を参考に作成したもの)</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・友達との会話を通して、わかったことをインタビューシートに書き、情報を整理する。</li> <li>・友達のできることやできないことについて、“can”を使ってワークシートに書かせる。</li> </ul> <p>例) “Hikaru can play the guitar.”</p>
3分	<p>○振り返りをする。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・本時の活動を振り返り、振り返りを記入させる。</li> <li>・次時の連絡を聞く。</li> </ul> <p>○挨拶をする。</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・本時のねらいに照らして、生徒を称賛する。</li> <li>・Who am I?クイズを作る見通しを再度共有し、次時への期待感を高める。</li> <li>・挨拶をする。</li> </ul>

\*ワークシート別添

【第7時】 友達のできること, できないことを英語で書いてみよう!( can/ can't )



# Ken can play table tennis.

## 😊 Hint Box 😊

 <p>play badminton</p>	 <p>play table tennis</p>	 <p>play soccer</p>	 <p>play baseball</p>
 <p>play the piano</p>	 <p>play the recorder</p>	 <p>play <i>shogi</i></p>	 <p>ride a unicycle</p>
 <p>ski</p>	 <p>skate</p>	 <p>swim</p>	
 <p>do judo</p>	 <p>do <i>kendo</i></p>	 <p>do jump rope</p>	

小中接続単元 Hello! Junior High School Life. 第8時 (全12時)

- 目標 ・友だちになりきって“Who am I?”クイズを行う活動を通して、できることやできないことについて話したり質問に答えたりする。
- 評価規準 ・友だちになりきって、できることやできないことについて話したり質問に答えたりすることができる。
- 準備 ・絵カード (動作を表す表現 (動詞), 生徒にとって身近なスポーツ, 特技など)  
・ We Can! 1 デジタル教材
- 関連 ・ We Can!1 Unit 5, 9, We Can!2 Unit 1, 3, Hi, friends!2 Lesson 3, 6

時間	言語活動等 (生徒)	指導・援助 (教師) ◎評価<方法>
3分	<p>○挨拶をする。</p> <p>・前時までの学習を振り返り、本時の目標を確認する。</p>	<p>・全体に挨拶し、個別に数名の生徒に挨拶する。</p> <p>・前時までの学習について尋ね、本時の目標と流れを生徒と一緒に確認する。</p> <p>・本時で生徒が行う Who am I?クイズのモデルを示し、体験させる。</p> <p>T : Hello, who am I? I like sports very much. I am from Shimane. I like Nodoguro. It is a famous fish in Shimane. I can play tennis very well. I can't eat ゴーヤ. It's too bitter. Who am I? (The answer is Kei Nishikori.)</p> <p>S1 : Are you ○○? T : No, I'm not, sorry. Do you want some hints? S : Yes. Hint, please. Can you play soccer well?</p>
12分	<p>○Who am I?クイズを出したり答えたりするために、どのような英語表現を使い、どのように構成するとよいか考える。</p> <p>・授業導入の教師のデモンストレーションから、どのような英語表現を活用するか考える。</p> <p>(予想される生徒の気付き)</p> <p>*初めにあいさつをして“Who am I?”と問いかけていた。</p> <p>* “I can play tennis.”って聞こえたから、テニス選手だと分かりました。等</p> <p>・友達と “Who am I?”クイズを楽しむための構成や内容についての工夫を考える。</p>	<p>・導入で教師が出題した Who am I?クイズで、どんな内容が分かったか、どのような英語表現を聞き取ったか、を発表させる。</p> <p>“What English phrases did you catch?”</p> <p>※使う英語表現を教師から一方的に教えるのではなく、生徒が体験したクイズをもとに、どのような表現が使われているか気付くことができるようにする。</p> <p>※ “very well” “a little”のように、できるだけ詳しく表現したいという意欲を大切に、実態に応じてこれらの表現も導入しながら、英語を使おうとする行動を認めていく。</p> <p>・友達とのクイズをおもしろくするには、どんなことに気をつけるといいか問いかけ、ヒントとなる情報の構成 (分かりやすいヒントは後から言う等) や「みんながまだ知らないような意外な一面について話す」等、内容についても考えさせる。</p> <p>・インタビューした友だちの中から、だれについてクイズにするか選ばせ、クイズのペアで練習やリハーサルを促す。</p> <p>※子どもや学級の実態に応じて、クイズにして出題する友達は、複数選ばせることも考えられる。</p>

20分	<p>○考えた <b>Who am I?</b>クイズを、友だちと出し合う</p> <p>S1S2: Hi. Let's start!</p> <p>S1: Who am I? I am a boy. I can play tennis well. I like soccer, too. Who am I?</p> <p>S2: Are you Masashi?</p> <p>S1: No, sorry. Masashi can do Karate, but I can't do Karate.</p> <p>S2: Can you run fast?</p> <p>S1: Yes, I can.</p> <p>S2: Are you Ken?</p> <p>S1: That's right! I am Ken!</p>	<p>・子どもたちが考えた英語表現を全体にいくつか紹介し、それぞれのクイズの中で活用することを促す。</p> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin: 5px 0;"> <p>T : Let's enjoy "Who am I?" quiz game now. Now, you are one of your friends in this classroom. Are you ready to start?</p> </div> <p>・必要に応じて、教師が他の教師になりきって、生徒を相手にデモンストレーションを見せてもよい。</p> <p>・教師は生徒の様子を観察しながら、これまでの学習を生かしてコミュニケーションを図ろうとしている態度を認める言葉かけを行う。</p> <p>・単語レベルでのやりとりでも、なんとか英語を使ってやりとりを継続させようとする態度を積極的にほめる。</p> <p>◎友だちになりきって、できることやできないことについて話したり質問に答えたりしている。〈行動観察・発言〉</p>
15分	<p>○Who am I?クイズを通して、聞き取ったり話したりできるようになった表現を書く。</p>	<p>・Who am I?クイズで使った表現を書き写させる。</p>
5分	<p>○振り返りをする。</p> <p>・本時の活動を振り返り、振り返りを記入させる。</p> <p>・次時の連絡を聞く。</p> <p>○挨拶をする。</p>	<p>・本時のねらいに照らして、生徒を称賛する。</p> <p>・本時で <b>Who am I?</b>クイズをして、発見した友だちの新しい一面や自分との共通点、関心をもったことなどについて発表し合い、コミュニケーションのよさについて感じられるようにする。</p> <p>・次時では、さらに中学校の先生について知る活動をすることを知らせる。</p> <p>・挨拶をする。</p>

【第8時】

# Who am I? I can/ can't ~.

○今回の“Who am I?”クイズで使えるようになった英語表現を書いてみましょう。

表現のリストを参考にして、書き写しましょう。

Who am I?

I can



☺ Hint Box ☺



play badminton



play table tennis



play soccer



play baseball



play the piano



play the  
recorder



play *shogi*



ride a unicycle



Do jump rope



ski



skate



swim



do *judo*



do *kendo*

## 小中接続単元 Hello! Junior High School Life 第9時 (全12時)

- 目 標 ・ヘボン式ローマ字で教師の名前や出身地を書く。
- 評価規準 ・Who am I? クイズに関心を持ち、答えを推測し、答えることができる。  
・ローマ字表を見ながら、正しくヘボン式ローマ字で教師の名前や出身地名を書くことができる。
- 準 備 ・Who is this? クイズの問題と英文 (提示用)、ワークシート、We Can! 2

時間	言語活動等 (生徒)	指導・援助 (教師) ◎評価<方法>
2分	○挨拶をする。	<ul style="list-style-type: none"> <li>・全体に挨拶し、個別に数名の生徒と英語でやり取りをする。</li> <li>・本時の目標と流れを生徒と確認する。</li> </ul> <p>T: Last English class, you enjoyed "Who am I?" quiz. Today let's try "Who am I? Teachers' version!"</p>
20分	<p>○「Who am I? クイズ」をする。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ある教師の自己紹介文を英語で聞いたリ、英文を見たりして、誰のことか推測する。</li> <li>・クイズの英文を声に出して、読みの練習をする。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・教師をクイズ形式で紹介する。その際、紹介する英文を見せる。(板書、掲示、スクリーン提示など)</li> <li>※可能であれば、英文は1文ずつ見せるようにする。</li> </ul> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin: 5px 0;"> <p>I am from Nagoya City. I like animals. My favorite animal is a dog. I play tennis. I like chocolate. I watch movies on weekends. My favorite movie is Harry Potter. I teach science. Who am I?</p> </div> <p>S: Is she Yamamoto <i>sensei</i>? T: Yes. She is Ms. Yamamoto.</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・クイズの正解が出たら、内容を確認しながら英文をリピートして音読練習をさせる。</li> <li>・複数問出題をする。</li> </ul>
25分	<p>○先生の名前や出身地をローマ字で書く。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・教師の名前と出身地名をローマ字で書く。</li> <li>・We Can! 2 p.81 のローマ字表を参考にする。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・クイズに登場した教師名や、他の教師の名前と出身地を、We Can! 2 p.81 のローマ字表を参考にしながらヘボン式ローマ字で書かせる。</li> <li>・クイズに登場した教師については、分かったこともメモさせる。</li> <li>・ヘボン式ローマ字の指導のため、“chi” “shi” “fu”などが入る教師名や地名を準備する。</li> <li>・ローマ字の答え合わせをするときに、名前や地名は大文字から書き始めることと、ヘボン式ローマ字を使用することを確認する。</li> </ul> <p>◎ローマ字表を見ながら、ヘボン式ローマ字で教師の名前や出身地名を書いている。&lt;行動観察・ワークシート点検&gt;</p>
3分	<p>○振り返りをする。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・本時の活動を振り返り、振り返りを記入させる。</li> <li>・次時の連絡を聞く。</li> </ul> <p>○挨拶をする。</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・本時のねらいに照らして、生徒を称賛する。</li> <li>・次の時間は小学校と中学校の違いを英語で考えたり伝え合ったりすることを伝える。</li> <li>・挨拶をする。</li> </ul>

【第9時】

Who is Mr.○○ / Ms.△△?

1<sup>st</sup> Class \_\_\_\_\_ Name \_\_\_\_\_

教科	先生の名前 (日本語)	先生の名前 (ローマ字)	住んでいる場所 (ローマ字)	先生についてわかったこと (日本語)
English		----- ----- ----- -----	----- ----- ----- -----	
math		----- ----- ----- -----	----- ----- ----- -----	
Japanese		----- ----- ----- -----	----- ----- ----- -----	
science		----- ----- ----- -----	----- ----- ----- -----	
music		----- ----- ----- -----	----- ----- ----- -----	

## 小中接続单元 Hello! Junior High School Life 第10時 (全12時)

- 目 標 ・小学校と中学校の違いを英語で伝えたり、楽しみたい学校行事や入りたい部活動について英語で尋ねたり答えたりする。
- ・例文を参考にして、自分が楽しみたいことや入りたい部活動について英語で書く。
- 評価規準 ・小学校と中学校の違いや、学校行事や部活動について英語で尋ねたり答えたりできる。
- ・例文を参考にして、自分が楽しみたいことや入りたい部活動について英語で書くことができる。

### ■準備 ワークシート, We Can!2

時間	言語活動等 (生徒)	指導・援助 (教師) ◎評価<方法>
2分	○挨拶をする。	<ul style="list-style-type: none"> <li>・全体に挨拶し、個別に数名の生徒と英語でやり取りをする。</li> <li>・本時の目標と流れを生徒と確認する。</li> </ul>
15分	<p>○小学校と中学校の違いを考える。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・小学校と中学校の違いについて考える。</li> </ul> <p>○中学校で始まったもの・こと、中学校でなくなったもの・ことを英語で伝え合う。</p> <p>S1: We have our school festival now. S2: We don't have 20分休み now.</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・中学校生活と小学校生活の違いは何か、と問いかける。</li> </ul> <p>T: What are the differences between elementary school and junior high school? 小学校と中学校の違いって何かな?</p> <p>S1: 部活</p> <p>T: Good. You have clubs after school now. Anything else?</p> <p>S2: 数学</p> <p>T: Yes. In elementary school, you called it 算数, right?</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・生徒から意見が出ないときは、ヒントを与える。</li> </ul> <p>T: What do you do after school now? What is a NEW subject now?</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・“We have ~now.” “We don't have ~now.”を何度も聞かせて、今から使う表現を意識させる。</li> </ul> <p>T: We have clubs now. We have school uniforms now. We don't have 大休み now. We don't have 集団登校 now.</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・中学校で始まったもの・こと、中学校でなくなったもの・ことをできるだけたくさん、ペアで伝えあわせる。</li> <li>・ペア活動の後、数名の生徒の意見を発表させ、学級全体で確認をする。</li> </ul> <p>◎中学校と小学校の違いについて、自分の考えを伝えようとしている。&lt;行動観察&gt;</p>
10分	<p>○中学校の学校行事について確認をする。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・楽しみたい学校行事についてペアで尋ねたり、答えたりする。ペアを替えて繰り返す。</li> </ul> <p>S1: What do you want to enjoy? S2: I want to enjoy our school festival. How about you? S1: I want to enjoy sports day. I like running. S2: I see.</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・We Can!2 p.66~67を開けさせ、本校の学校行事とその英語での読み方を確認する。</li> <li>・数名の生徒と学校行事についてやりとりをする。</li> </ul> <p>T: What do you want to enjoy in junior high school, S1?</p> <p>S1: 学校祭.</p> <p>T: Oh, school festival. Say, “I want to enjoy our school festival.”</p> <p>S1: I want to enjoy our school festival.</p> <p>T: How about you, S2?</p> <p>S2: I want to enjoy the chorus contest.</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・自分が楽しみたい学校行事をペアで伝え合う。</li> <li>・ペア活動の後、数名の生徒の意見を発表させ、学級全体で確認をする。</li> </ul>

10分	<p>○どの部活動に入りたいか（興味があるか）を伝え合う。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・入りたい部活動についてペアで尋ねたり、答えたりする。ペアを替えて繰り返す。</li> </ul> <p>S1: What club do you want to join? S2: I want to join the soccer team. How about you? S1: I want to join the brass band. I like music. S2: I see.</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ We Can!2 p.66～67 を開けさせ、本校の部活動とその英語での読み方を確認する。</li> <li>・ 数名の生徒と部活動についてやりとりをする。</li> </ul> <p>T: What club do you want to join, S1? S1: Science club. T: Science club? Do you like science? S1: Yes.</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 自分が入りたい（興味がある）部活動をペアで伝え合う。</li> <li>・ ペア活動の後、どの部活動に人気があるのか、学級全体に質問を投げかける。</li> </ul> <p>T: Who wants to join the soccer team? Raise your hand.</p> <p>◎入りたい部活動を尋ねたり答えたりしている。〈行動観察〉</p>
10分	<p>○中学校で楽しみたいことと入りたい部活動について英語で書く。</p> <p>I want to enjoy ~. I want to join ~.</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ We Can! 2 p.72 と p.00 を開けさせ、自分が中学校で楽しみたいことと、自分は○○部に入りたい、という思いを書かせる。</li> </ul> <p>◎楽しみたいことや入りたい部活動について英語で書いている。〈行動観察・ワークシート点検〉</p>
3分	<p>○振り返りをする。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 本時の活動を振り返り、振り返りを記入させる。</li> <li>・ 次時の連絡を聞く。</li> </ul> <p>○挨拶をする。</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 本時のねらいに照らして、生徒を称賛する。</li> </ul> <p>・ 次の時間は、ALT の先生への自己紹介の準備をすることを伝える。</p> <p>・ 挨拶をする。</p>

**【第 1 0 時】**

1<sup>st</sup> Class \_\_\_\_\_ Name \_\_\_\_\_

What club do you want to join?

-----  
-----  
-----

What do you want to enjoy?

-----  
-----  
-----  
-----  
-----  
-----  
-----  
-----  
-----  
-----

## 小中接続単元 Hello! Junior High School Life 第11時 (全12時)

- 目 標 ・既習事項やアドバイスを参考にしながら自己紹介文を書き、自己紹介の準備をする。
- 評価規準 ・自分が伝えたいことについて、自己紹介の文章を書くことができる。
- 準 備 ・ワークシート、We Can!2, 自己紹介例 (2種類)

時間	言語活動等 (生徒)	指導・援助 (教師) ◎評価<方法>
8分	<p>○挨拶をする。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・季節についての small talk を聞き、友達と好きな季節を尋ね合う。</li> </ul> <p>S1: What season do you like? (What's your favorite season?)</p> <p>S2: I like spring. My birthday is in spring. How about you?</p> <p>S1: My favorite season is fall. I like sweet potatoes.</p> <p>S2: That's nice.</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・全体に挨拶し、個別に数名の生徒と英語でやり取りをする。</li> <li>・自分の好きな季節を伝え合う。</li> </ul> <p>T: I like spring. I like cherry blossoms. Small beautiful flowers.</p> <p>Ss: 桜?</p> <p>T: Yes. I like cherry blossoms. My favorite season is spring. What's your favorite season, S1?</p> <p>S1: My favorite season is summer.</p> <p>T: Why?</p> <p>S1: I like swimming.</p> <p>T: Oh, me, too. How about you, S2?</p> <p>S2: I like winter. I like snow.</p> <p>※必要に応じて、季節の英語での言い方を確認する。</p> <p>※その季節を好きな理由も述べさせてもよい。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ペア活動の後、数名の生徒の意見を発表させ、学級全体で共有する。</li> <li>・本時の目標と流れを生徒と確認する。</li> </ul>
5分	<p>○自己紹介の内容について考える。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・自分が伝えたいことをワークシートに記入する。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・どんな内容を伝えると、より深く自分のことを知ってもらえるか考えさせて、ワークシートに日本語で記入させる。</li> </ul> <p>T: Next English class, you are going to meet your ALT, Mary. So today, let's make your introduction in English. First, think about yourself. What do you like? What can you do? What do you want to do? 自分を知ってもらうためには自己紹介でどんなことを伝えるといいかな。</p>
15分	<p>○自己紹介文を英語で書く。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・英文を書くときの決まりについて確認する。</li> <li>・間違いを含んだ英文を見て、間違いに気づき、直す。</li> </ul> <p>・We Can! 2 Unit1 を参考に、自分自身について伝えたいことを英語での表現を考える。</p> <p>・グループになり、友達と相談しながら自己紹介文を書く。</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・英文の書き方を確認するため、あえて間違いを含んだ1文目の例を板書する。</li> </ul> <p>例) Iamtanakayosio</p> <p>T: This is your first sentence. Is it OK?</p> <p>Ss: No! また、詰まりすぎです、先生!</p> <p>T: Oh, yes.</p> <p>Ss: 名前の最初は大文字です。</p> <p>T: You're right. (書き直す。I am Tanaka Yosio) OK?</p> <p>Ss: 「し」がへボン式じゃないです。最後の点もない。</p> <p>T: Good. 最後の点 is ピリオド。(書き直す。I am Tanaka Yoshio.) OK, now it's your turn. Please start writing your introduction! じゃあ、グループの友達と助け合いながら、自己紹介の文を完成させましょう。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ワークシートに記入した内容をもとに、自己紹介文を書くにはどのような表現を使ったらよいかを、グループで考えさせる。</li> <li>・We Can! 2 Unit1 を参考にさせる。</li> <li>・机間指導をしながら、表現やスペルなどを支援する。</li> </ul>

<p>10分</p>	<p>○よりよい自己紹介について考える。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・2つの例を見て、どちらがよりよい自己紹介か、また、なぜそう思うのか、という理由を考える。</li> </ul> <p>「例1の方がすっきりしているからいいと思う。」  「例2の方がたくさんのことを伝えているからいい。」  「例2は、何か伝えた後、もうひとつ情報を付け加えている。」  「例2は、相手に質問をしている。」</p> <p>・よい例を参考にして自分の自己紹介を推敲する。</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・しばらくグループ活動をさせた後、例を2パターン提示する。</li> </ul> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin-bottom: 10px;"> <p>&lt;例1&gt;  I am Takana Yoshio.  I like baseball.  I can play baseball.  I like ice cream.  I like books.  Nice to meet you.</p> </div> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px;"> <p>&lt;例2&gt;  I am Takana Yoshio.  I like baseball. I play baseball every day.  I can play baseball. I play basketball at Minami Gym.  I like ice cream. My favorite is chocolate ice cream.  I like books. I read books every day.  Do you like books, too?  Nice to meet you.</p> </div> <ul style="list-style-type: none"> <li>・例1と例2を比べて、どちらがよりよい自己紹介か、またそう思う理由をグループ内で話し合う。</li> <li>・よい方とその理由を学級全体でシェアする。</li> <li>・自分の自己紹介をよりよくなるように工夫させる。</li> </ul> <p>◎伝えたいことを We Can!2 やアドバイスを参考にしながら、英文で書いている。&lt;ワークシート点検&gt;</p>
<p>10分</p>	<p>○自己紹介の練習をする。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・自己紹介の練習をする。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・グループ内で自己紹介の練習をさせる。</li> <li>・机間指導をしながら、表現や発音などを支援する。グループ内でよりよい自己紹介にするために、友達と協力させる。</li> </ul>
<p>2分</p>	<p>○振り返りをする。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・本時の活動を振り返り、振り返りを記入させる。</li> <li>・次時の連絡を聞く。</li> </ul> <p>○挨拶をする。</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・本時のねらいに照らして、生徒を称賛する。</li> <li>・次の時間は、実際にALTに自己紹介をすることを伝える。</li> <li>・挨拶をする。</li> </ul>

# 【第 1 1 時】 自己紹介文を書こう！

1<sup>st</sup> Class \_\_\_\_\_ Name \_\_\_\_\_

★自分が紹介したいことを日本語でメモしよう。

好きなもの／こと	できること
したいこと	他に伝えたいこと

Me



小中接続单元 Hello! Junior High School Life 第12時 (全12時)

- 目標 ・英語で自己紹介をする。
- 評価規準 ・英語で自己紹介をすることができる。
- 準備 ・ワークシート, We Can!2

時間	言語活動等 (生徒)	指導・援助 (教師) ◎評価<方法>
2分	○挨拶をする。	<ul style="list-style-type: none"> <li>・全体に挨拶し、個別に数名の生徒と英語でやり取りをする。</li> <li>・本時の目標と流れを生徒と確認する。</li> </ul> <p>T: Today, we have a special guest, Mary! Big hands! (拍手を促す)</p>
8分	<p>○ALTについて知る。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ALTの自己紹介を聞き、ALTについて知る。</li> </ul> <p>・もっと知りたいことについて、質問をする。</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ALTの自己紹介を聞かせる。ALTの自己紹介の後、わかった内容(聞き取れた内容)を確認する。</li> </ul> <p>T: What do you know about Mary? S: アメリカ出身! T: Yes. She is from America. Repeat after me. S: She is from America. T: Good. Anything else? <ul style="list-style-type: none"> <li>・ALTについて、聞きたいことがあれば、質問させる。</li> </ul> <p>T: Do you have any questions to Mary? Anyone? Let me see, (ALTの方を向いて) can you speak Japanese? ALT: No, I can't. I can speak only English. T: I see. (生徒の方を向いて、質問を促す) Anyone? S1: Do you like <i>natto</i>? ALT: No, I don't. It's not delicious. Do you like <i>natto</i>? S1: Yes, I do. It's delicious. <ul style="list-style-type: none"> <li>・ALTに興味を持つように促す。前時までの授業で、友達にインタビューをしたときに使用した疑問文を思い出させる。</li> </ul> </p></p>
8分	<p>○自己紹介の練習をする。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・どんな風に自己紹介をするとよいか、考える。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・グループになり、各自で自己紹介の練習をさせる。わからない発音はお互いに尋ね合わせたり、教師に質問させたりする。</li> <li>・自己紹介の悪い例を示し、どんなことに気をつけるとよいか、確認する。</li> </ul> <p>(悪い例)</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・原稿を棒読みする。</li> <li>・相手の方を見ない。下を向いたまま。</li> <li>・声が小さい。</li> <li>・相手の理解を確認せず、一方的に話す。</li> </ul> <p>T: 今の自己紹介は、よかったかな。どうだった? Ss: 相手を見ていなかったからよくない。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・自己紹介をするときには、相手を意識することが大切であることに気づかせる。</li> </ul>
30分	<p>○ALTに自己紹介をする。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ALTに対して英語で自己紹介をする。</li> </ul> <div style="border: 1px solid green; padding: 5px;"> <p>Hi, I am Yamada Taro. I like <i>takoyaki</i>. I sometimes make it. I can play soccer. I practice it hard. I want to be a soccer player. Do you like soccer, too? Nice to meet you.</p> </div>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・準備と練習をしてきた自己紹介をさせる。</li> <li>・ALTには、それぞれの生徒の自己紹介のあとに、英語で質問をするように打ち合わせしておく。</li> <li>・自分が自己紹介をしないときは、友達がどんなことを話しているか、しっかりと聞くように指導する。</li> </ul> <p>※学級全体の前でALTに対してひとりずつ自己紹介をさせてもよいし、各グループにALTが入り、グループ内でひとりずつ自己紹介させてもよい。</p>

	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ALT からの質問に答える。</li> </ul>	<p>※ALT 相手と限定せず，状況に応じて，自己紹介をする相手は他教科の教員や先輩，他のグループのメンバーなどと柔軟に変更してもよい。</p> <p>◎自己紹介をしている。〈行動観察〉</p>
2分	<ul style="list-style-type: none"> <li>○振り返りをする。 <ul style="list-style-type: none"> <li>・ALT のコメントを聞く。</li> <li>・本時の活動を振り返り，振り返りを記入させる。</li> </ul> </li> <li>○挨拶をする。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ALT に生徒の活動を賞賛するスピーチをさせる。</li> <li>・本時のねらいに照らして，生徒を称賛する。</li> <li>・挨拶をする。</li> </ul>

